

事例研究における事前課題【課題様式2】について

令和4年度生徒指導基幹研修においては、研修を一層充実させるため、最終日に生徒指導事例研究の講座を設けております。

つきましては、自らの実践事例を発表・共有する資料とするため、下記のとおり、事例研究レポートの準備・提出をお願いします。

記

1 事例研究について

受講者が事前に提出した資料をもとに、講師の指導を受けながら、事例分析や協議等を行う。

2 レポートのテーマ

事例研究レポートのテーマについては下記のXグループとYグループから要素を1つずつ選択して（複数の要素にまたがるものは、その旨がわかるよう記載する。）組み合わせ、できる限り自分の実践事例を基に資料を作成すること。

ただし、児童生徒に直接関わっていない場合は、その時の立場でどのように関わったか、どのような後方支援をしたか等について記入すること。

なお、テーマ番号については、たとえば「①－a」のように表記すること。

Xグループ	① 発達に関すること ② 喫煙、飲酒、薬物乱用に関すること ③ 少年非行に関すること ④ 暴力行為に関すること ⑤ いじめに関すること ⑥ SNS等の情報に関すること ⑦ 性に関すること ⑧ 自殺に関すること ⑨ 児童虐待に関すること ⑩ 家出に関すること ⑪ 不登校に関すること ⑫ 中途退学に関すること
Yグループ	a 教員の組織的対応が困難な事例 b 校外との連携協力が難しかった事例 c 保護者の対応が難しかった事例 d 裁判に発展した事例 e 問題の背景理解や児童生徒理解が難しかった事例

3 資料の形式・部数

(1) 形式（別添様式のとおり）

用紙はA4版、縦置き・横書きとする。行数・字数については自由とする。
教職員支援機構のホームページにWordデータの様式を掲載するので、そちらをダウンロードし、活用しても構わない。

<https://www.nits.go.jp/training/102/003.html>

(2) ページ数

4ページ以内

(3) 提出

提出方法・期限等については、受講者決定通知の際に改めて通知する。

※ 提出期限については、5月中旬を予定しています。

4 留意事項

(1) 本研修の受講者全員で共有することを前提として作成すること。特に、児童生徒及び保護者等のプライバシー等には十分配慮し、個人が特定できないように留意すること。

(2) レポートの1ページ目に、テーマ番号、都道府県名（指定都市名）、所属名、職名、氏名を明記すること。

なお、レポートの内容については現在・過去の所属のいずれの時点の実践事例でも構わないが、レポート冒頭に記載する所属名及び職名については、研修受講時（令和4年4月時点）の所属を記載すること。

(3) Yグループの要素は難しかった視点であるが、うまくいった事例において工夫したことや留意したことという視点でもよい。

(4) 実践事例については、うまくいった事例や解決された事例だけでなく、うまくいかなかった事例、問題を残した事例、現在もなお懸案となっている事例など、ユニットで改めて検討して欲しい事例も望まれる。